

令和5年度学校経営の成果と課題 ～学校評価アンケートの分析から

学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。

学校経営の3つの重点に沿った15項目で、生徒、保護者の皆様、本校の教員によるアンケートを数値化してまとめました。以下にその結果をお伝えします。また、第3回学校運営協議会でもこの結果を公表し、熟議いたしました。来年度の教育活動に生かせるように学校経営の改善を図ってまいります。今後とも、ご理解とご協力をお願いいたします。

◇評価方法について

今年度の学校経営の3つの重点について、それぞれ5項目の質問を設定し、A～Dの4段階評価としました。

A：そう思う B：どちらかといえばそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない

重点Ⅰ 助け合い高め合う生徒（共生）

		A B C D				
		A	B	C	D	
敬愛の心	1 生徒は、学校・地域でのボランティア活動などを通して、地域の一員としての自覚を高めることができたと思いますか。	生徒	48.6	45.9	4.5	0.0
		教員	26.7	73.3	0.0	0.0
		保護者	45.6	44.4	8.9	1.1
	2 生徒は、学校や家庭、地域でのあいさつをすすんで行っていると思いますか。	生徒	66.7	27.9	3.6	0.9
		教員	13.3	73.3	13.3	0.0
		保護者	44.4	42.2	11.1	1.1
	3 生徒は、教科の学習や総合的な学習の時間等を通して、地域の特徴を理解したり、地域に対する愛着を持ったりすることができたと思いますか。	生徒	40.5	52.3	6.3	0.0
		教員	40.0	60.0	0.0	0.0
		保護者	31.1	54.4	12.2	2.2
	4 生徒は、地域の方の協力を得て（「資源回収」や「地域探訪」、「福祉交流学習」など）、自分のものの見方や考え方を広げたり深めたりすることができたと思いますか。	生徒	55.9	37.8	5.4	0.9
		教員	73.3	26.7	0.0	0.0
		保護者	54.4	42.2	1.1	2.2
	5 生徒は、高中生の一員として学校をより良くするために行動できたと思いますか。 学校は、保護者や地域の方々の声に耳を傾け、学校をより良くしようとしていると思いますか。	生徒	49.5	43.2	7.2	0.0
		教員	60.0	40.0	0.0	0.0
		保護者	45.6	45.6	8.9	0.0

今年度生徒会スローガンに「聲（こえ）」を掲げました。「聲」という漢字には「声」を発するという意味と「声」を聴くという2つの意味があります。声を出してお互いに励まし合い、その声に応じて行動することで学校全体が活性化することをめざし、生徒会活動に取り組んでいます。ボランティアは今年度も生徒会活動の重点目標の一つです。アルミ缶回収を定期的に行い、収益金で車椅子を購入し、地区内の県リハビリセンターへ寄贈することができました。

4、5では、生徒、教員、保護者のA・B評価が合わせて9割を超え、高い評価となりました。このことから、三者ともおおむね「地域に感謝し、地域に貢献できた」と、とらえているのではないかと思います。また、地域の方々のご理解とご協力のおかげで今年度も「地域を知り、地域に学ぶ」体験活動から多くのことを学ぶことができ、その充実感から高い評価につながっていると思われます。

重点Ⅱ 進んで学ぶ生徒（自主）

		A B C D				
		A	B	C	D	
自主の心	6 生徒は、「授業が楽しい」と感じながら学習することができたと思いますか。 学校は、授業の中で生徒の興味関心を喚起させるような工夫をしていると思いますか。	生徒	41.4	45.9	12.6	0.0
		教員	40.0	60.0	0.0	0.0
		保護者	28.9	52.2	16.7	1.1
	7 生徒は、「わかった」「できた」と達成感を感じながら学習することができたと思いますか。 お子さんは、授業の中で達成感を得ながら学習していると思いますか。	生徒	46.8	43.2	8.1	0.9
		教員	6.7	86.7	6.7	0.0
		保護者	22.2	52.2	22.2	3.3
	8 生徒は、仲間と話し合ったり調べたり、まとめたりするなどの関わりを大切にしながら学習することができたと思いますか。 お子さんは、仲間と話し合ったり調べたり、まとめたりするなどの関わりを大切にしていると思いますか。	生徒	55.0	30.6	3.6	1.8
		教員	40.0	60.0	0.0	0.0
		保護者	38.9	46.7	12.2	2.2
	9 生徒は、学校からの課題や自分で計画した家庭学習に自主的に取り組むことができたと思いますか。	生徒	36.9	38.7	17.1	5.4
		教員	0.0	73.3	20.0	6.7
		保護者	30.0	41.1	25.6	3.3
	10 生徒は、家庭で読書する時間を意識して設定していると思いますか。	生徒	27.9	27.0	23.4	21.6
		教員	6.7	60.0	26.7	6.7
		保護者	16.7	28.9	30.0	24.4

【特徴的な生徒回答結果】～令和4年度との比較から～

項目6 あなたは「授業が楽しい」と感じながら学習することができたと思いますか

A または B の生徒

R4	1年(現2年)	81.2%	→	R5	2年	90.4%	9.2↑
R4	2年(現3年)	73.9%	→	R5	3年	86.7%	12.8↑

項目7 あなたは「わかった」「できた」と達成感を感じながら学習することができたと思いますか

A または B の生徒

R4	1年(現2年)	91.6%	→	R5	2年	88.0%	3.6↓
R4	2年(現3年)	82.6%	→	R5	3年	90.0%	7.4↑

項目8 あなたは、仲間と話し合ったり調べたり、まとめたりするなどの関わりを大切にしながら学習することができたと思いますか。

A または B の生徒

R4	1年(現2年)	91.6%	→	R5	2年	100%	9.4↑
R4	2年(現3年)	89.1%	→	R5	3年	90.0%	0.9↑

昨年度との比較により、「授業が楽しい」「わかった」「できた」と感得している生徒が増加していることが明確になりました。このことは授業改善が進み、生徒の「学びたい」という意欲を高めているのではないかととらえております。

生徒の「楽しい」「わかった」という感受は仲間と話し合ったり、調べたり、まとめたり、という「関わり」で高まるということも読み取れると思われます。

家庭学習について、学校からの課題への取り組みと自分で計画した学習を同列で問うことは大変難しいと思われる。自主的に、自分で学習を計画し、学習に取り組む家庭学習ができる生徒を育てたいと考えています。

重点Ⅲ 鍛え合う生徒（自立）

			A				B				C				D			
			生徒	教員	保護者	平均	生徒	教員	保護者	平均	生徒	教員	保護者	平均	生徒	教員	保護者	平均
不屈の心	11	生徒は、自分自身の生活を振り返りながら、自分の良さを理解したり、自ら進んで自分の進路を考えたりのことができたと思いますか。	生徒	31.5	46.8	18.9	2.7	生徒	13.3	73.3	13.3	0.0	生徒	14.4	47.8	34.4	3.3	
			教員	13.3	73.3	13.3	0.0	教員	13.3	86.7	0.0	0.0	教員	25.6	62.2	8.9	3.3	
			保護者	14.4	47.8	34.4	3.3	保護者	37.8	44.4	12.2	5.6	保護者	43.3	48.9	4.4	2.2	
	12	生徒は、学級や部活動など集団での活動において、切磋琢磨して互いに力を伸ばしたり、仲間の良さを見つけ、共に成長することができたと思いますか。	生徒	51.4	39.6	8.1	0.9	生徒	13.3	86.7	0.0	0.0	生徒	39.6	50.5	9.0	0.9	
			教員	13.3	86.7	0.0	0.0	教員	26.7	60.0	13.3	0.0	教員	6.7	86.7	6.7	0.0	
			保護者	37.8	44.4	12.2	5.6	保護者	25.6	62.2	8.9	3.3	保護者	43.3	48.9	4.4	2.2	
	13	生徒は、生徒会活動等自分自身の力で学校生活の向上をめざすことを通して、当たり前前のかを当たり前前にできるようになったと思いますか。	生徒	39.6	50.5	9.0	0.9	生徒	70.3	25.2	1.8	2.7	生徒	44.1	36.0	14.4	5.4	
			教員	26.7	60.0	13.3	0.0	教員	6.7	86.7	6.7	0.0	教員	6.7	53.3	40.0	0.0	
			保護者	25.6	62.2	8.9	3.3	保護者	43.3	48.9	4.4	2.2	保護者	21.1	31.1	27.8	8.9	
	14	生徒は、安心・安全な生活を送るよう、十分に注意して学校生活を送ることができたと思いますか。	生徒	70.3	25.2	1.8	2.7	生徒	44.1	36.0	14.4	5.4	生徒	44.1	36.0	14.4	5.4	
			教員	6.7	86.7	6.7	0.0	教員	6.7	53.3	40.0	0.0	教員	6.7	53.3	40.0	0.0	
			保護者	43.3	48.9	4.4	2.2	保護者	21.1	31.1	27.8	8.9	保護者	21.1	31.1	27.8	8.9	
	15	生徒は、心身の健やかな成長を図るために、早寝早起きやメディアコントロールに取り組むことができたと思いますか。	生徒	44.1	36.0	14.4	5.4	生徒	44.1	36.0	14.4	5.4	生徒	44.1	36.0	14.4	5.4	
			教員	6.7	53.3	40.0	0.0	教員	6.7	53.3	40.0	0.0	教員	6.7	53.3	40.0	0.0	
			保護者	21.1	31.1	27.8	8.9	保護者	21.1	31.1	27.8	8.9	保護者	21.1	31.1	27.8	8.9	

メディアコントロールは大きな課題となっていると感じています。生徒からは睡眠不足、視力低下の悩みも寄せられています。生活を便利にするための道具であること、その道具を賢く使用していくことについて今後も指導していきたいと思ひます。ご家庭でもご指導の継続をお願いします。

保護者より寄せられたコメント

- ・生活の怠惰は自己責任だとして、学習意欲があまり無いのは環境のせいもあるかと思われる。学年全体で、あまり学習向上の雰囲気を感じられない。(1年)
- ・生徒と先生方の距離が近く、安心感がある学校だと思っています。(2年)
- ・3年生になってから本人の意識が少しずつ高まってきていると感じます。日々の先生方からのご協力のおかげだと思っています。引き続きよろしくお願ひいたします。(3年)
- ・いつもきめ細やかなご指導ありがとうございます。3年間を通して共に学び合う仲間や先生方からたくさん気にかけてくださり、部活動や委員会活動に取り組むことが出来たのだと思います。前に出ることが苦手だった子が学校の活動を通して大きく成長させて頂き非常に感謝しております。(3年)

※ 第3回学校運営協議会よりいただいたコメントは地域学校協働活動だより「おらだですっべ」(2月22日発行)を参照してください。